

宮城県日中友好協会

TEL・FAX 022-274-3811

Eメール jcfa-miyagi@rose.plala.or.jp

ホームページ http://www16.plala.or.jp/miyagikenn/



11月、(霜月、しもつき)。いよいよ晩秋、初冬と一番苦手な季節へ移りかわろうとしています。未だコロナはなかなか収まりそうにはなく、予定が立てられません。宮城県でもやや増加傾向にありますので会員の皆さんもご自愛ください。

1. 11月の行事

日 時	行 事 名	場 所
月日 ()	今月は特に行事はありません。	

※ 各地区協会・委員会の行事報告等あれば掲載いたしますので、ぜひFax,メール等でお知らせください。

2. 魯迅先生逝世八十四周年碑前祭について

10月19日(月)10:30~仙台市博物館中庭にある「魯迅之碑」前で46名の参加者が集う中、魯迅先生逝世八十四周年碑前祭が執り行われました。当日はお天気にも恵まれ、昨年の大雨警報で一月遅れの開催になったことを思い起こせば、よしとするお天気日和でしたが、コロナの影響で手消毒用ハンドジェル、マスクを用意しての式典でした。

式典では郡和子仙台魯迅顕彰会会長(代理、高橋新悦副市長)、佐々木謙宮城県日中友好協会会長、劉子劍仙台中国学友会会長、本郷昌孝宮城県商工経済観光部参与の皆さまよりご挨拶をいただき、主な出席者の阿部峻之宮城県経済商工観光部アジアプロモーション課主事、小野敬則宮城県国際化協会専務理事兼事務局長、村山光彦仙台観光国際協会理事長、高橋正明仙台観光国際協会国際化事業部長、横山弘達仙台市文化観光局交流企画課交流係長、中川敬裕仙台市文化観光局交流企画課主事、東京より参加していただいた新宅久夫関東日中平和友好会会長の皆さんを紹介いたしました。その後、「魯迅之碑」について蕪武多四郎宮城県日中友好協会副会長より紹介があり、献花に移りました。献花では郡和子仙台魯迅顕彰会会長(代理、高橋新悦副市長)、佐々木謙宮城県日中友好協会会長、劉子劍仙台中国学友会会長の3名が参加者を代表して碑前に献花をいたしました。

献花後は恒例の記念写真撮影となりましたが、これまでと違う光景で、コロナの影響がこれまでとはと感じさせられる碑前祭でした。来年は、魯迅先生生誕140周年、逝世85周年、魯迅之碑建立60周年の年になります。記念撮影は少々の時間息を止めていただいていたの撮影となりました。



※ 魯迅先生の胸像と魯迅之碑



※ 高橋新悦会長代理のご挨拶



※ 佐々木謙会長のご挨拶



※ 劉子劍会長のご挨拶



※ 本郷昌孝参与のご挨拶



※ 献花後の碑前

3. 全日本中国語スピーチコンテスト東北大会2020（青年委員会 吉澤 千明）

青年委員会主管で10月25日（日）東京エレクトロンホール宮城において「全日本中国語スピーチコンテスト東北大会」を開催しました。

新型コロナウイルスの感染者報告が続く宮城県での開催に不安を感じ、県外の参加者の大会辞退が出るのではないかと心配しましたが、県内外からエントリーしていた16名全員が参加しました。

大会当日、朗読一般の部参加者の坂田正雄さん（今回9回目の参加）が91歳の誕生日を迎え、青年委員会から花束のプレゼントをして会場にいたみんなの拍手でささやかなお祝いをしました。

今回は感染拡大防止のため無観客の大会とし、朗読の部とスピーチの部で集合時間をずらして密にならない環境を整えました。開会式は行わず佐々木謙会長の主催者挨拶、審査員の紹介に続きそれぞれの審査後解散。閉会式は行わず審査結果は郵送しました。

審査の結果、朗読大学生の部は3名（宮城、山形、福島）朗読高校生の部は2名（宮城、山形）、朗読一般の部1名（宮城）、スピーチの部は3名（高校生山形、高校生岩手、一般山形）計9名を東北代表として全国大会に推薦します。

今回の大会は準備段階から例年とは違いました。外出自粛が要請されている中、どのようにしたら無事に開催できるのか実行委員はリモート会議で議論を重ね安全な開催方法を模索してきました。当日の役割分担もWechatのグループチャットで割り振りし、当日短い時間で打ち合わせをし、ほぼ1年ぶりに集まったメンバーで大会を運営しました。各自がしっかり役割を自覚し、互いに協力し大会をスムーズに運営できたことを誇りに思います。

この大会には駐新潟総領事館の他、多くの企業からご協賛をいただきました。このような困難な状況にも関わらずご協賛いただきました皆様へ心より感謝申し上げます。

最後に参加者から寄せられた大会の感想をご紹介します。

「一人で中国語を勉強し続けていたので、公の場で自分の発音を褒めていただけたたり、参加者の朗読を聞くことができたりしたおかげで今後の勉強の励みになりましたし、とても楽しかったです。中国旅行したい！と、強く思いました。また、今後友好協会の活動にも参加して、中国人の方々とたくさん交流をして友達を増やしたいです。」



※ 坂田氏に誕生日祝いの花束贈呈



※ 会場の風景



※ マスクをしての審査



※ 佐々木謙会長挨拶



※ 発表風景



※ 発表風景